

智頭急行株式会社 会社概況



I 会社概要

1. 社名 智頭急行株式会社
2. 設立 1986(昭和61)年5月31日
3. 所在地 総務部：鳥取県八頭郡智頭町智頭2052-1 (電話) 0858-75-6600 (FAX) 0858-75-6601
運輸部：鳥取県八頭郡智頭町智頭1862-2 (電話) 0858-75-2595 (FAX) 0858-75-2596
大原事業所：岡山県美作市古町1550-2 (電話) 0868-78-0082 (FAX) 0868-78-0032
4. 資本金 資本金：4億5千万円
5. 代表 代表取締役社長 西尾浩一
6. 事業 旅客鉄道事業
 - (1) 営業区間 上郡駅（兵庫県上郡町）～大原駅（岡山県美作市）～智頭駅（鳥取県智頭町）
 - (2) 営業キロ 56.1km
 - (3) 停車場 駅；14駅（停留所 5駅含む）、信号場；1駅
 - (4) 社員数 88名（常勤役員2名、契約社員7名含む）

7. 取締役

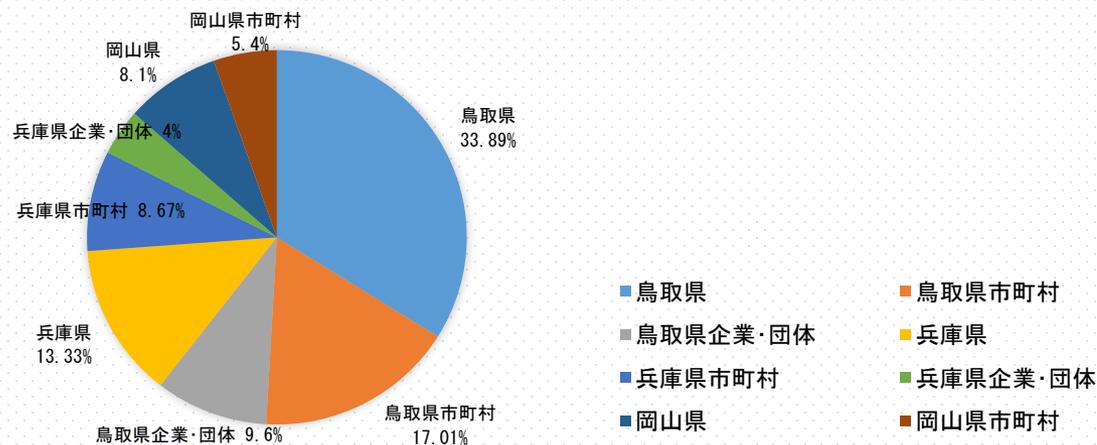
役職	
取締役会長	鳥取県知事
取締役副会長	兵庫県副知事 岡山県副知事
代表取締役社長	
代表取締役常務	
取締役	鳥取市長
	八頭町長
	智頭町長
	西粟倉村長
	美作市長
	佐用町長
	上郡町長
	(株)山陰合同銀行 特別顧問
	(株)鳥取銀行 取締役常務執行役員
	神姫バス(株) 代表取締役専務取締役
監査役	倉吉市長 姫路信用金庫 理事長

I 会社概要

8. 沿革

年月	事項
1892(明治25)年	智頭線の鉄道建設運動が、鳥取～姫路間を結ぶ姫鳥線として始まる
1922(大正11)年4月	鉄道敷設法敷設予定線となる
1962(昭和37)年3月	鉄道建設審議会において、智頭～上郡間が智頭線として工事線に採択
1966(昭和41)年5月	工事実施計画認可（1966.6工事着手）
1979(昭和54)年12月	「日本国有鉄道の再建について」閣議了解され、工事中止が決定
1985(昭和60)年12月	智頭線建設促進期成同盟会において第三セクター方式による鉄道運営のための早期会社設立等について決議
1986(昭和61)年5月	智頭鉄道株式会社創立 5.31設立登記
1986(昭和61)年12月	地方鉄道業免許、工事施行認可
1987(昭和62)年2月	工事再開
1991(平成3)年11月	高規格化事業を決議（1992.2事業着手）
1993(平成5)年1月	地方鉄道整備促進資金借入制度の活用を決定
1994(平成6)年6月	会社名を智頭急行株式会社に変更
1994(平成6)年11月	工事完成検査・保安監査
1994(平成6)年12月3日	開業

9. 株主 45株主（自治体17団体、民間28団体）



II 列車運行

1. 運行形態の推移

年月	事項
1994(平成6)年12月	開業 スーパーはくと3往復(新大阪～鳥取・倉吉)、臨時はくと1往復(新大阪～倉吉)、普通(上郡～大原17往復、大原～智頭12往復)
1996(平成8)年3月	全便京都駅発着化、スーパーはくと3往復、はくと2往復、臨時はくと1往復(京都～鳥取) 山陰線經由特急「あさしお」廃止
1997(平成9)年3月	スーパーはくと5往復、はくと1往復
1997(平成9)年8月	グリーン車4両導入
1997(平成9)年9月	全便スーパーはくと化(6往復)、いなば3往復(岡山～鳥取、智頭線經由) 因美線經由急行「砂丘」号廃止
2003(平成15)年10月	スーパーはくと7往復化、スーパーいなば5往復化
2010(平成22)年3月	スーパーいなば6往復化
2022(令和4)年3月	スーパーはくと6往復化(1往復臨時列車化)
2024(令和6)年3月	スーパーはくと8往復化

2. 運行区間及び列車本数等

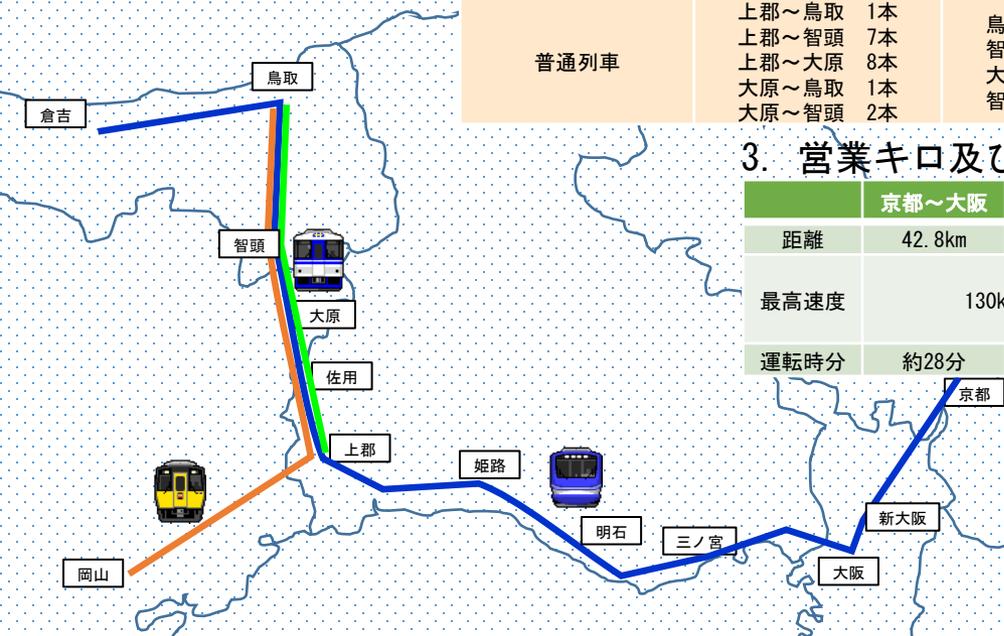
列車名	運行区間		車両形式及び編成	保有台数	付記
	下り	上り			
スーパーはくと	京都～倉吉 2本 大阪～倉吉 3本 大阪～鳥取 3本	倉吉～京都 1本 倉吉～大阪 5本 鳥取～京都 1本 鳥取～大阪 1本	HOT7000×5両	34両	検修：JR西鳥取
スーパーいなば	岡山～鳥取 6本	鳥取～岡山 6本	キハ187系×2両	8両(JR車両)	検修：JR西鳥取
普通列車	上郡～鳥取 1本 上郡～智頭 7本 上郡～大原 8本 大原～鳥取 1本 大原～智頭 2本	鳥取～上郡 2本 智頭～上郡 7本 大原～上郡 7本 智頭～大原 2本	HOT3500×1両※1 (因美線内は2両※2) ※1…便により2両あり ※2…便により1両あり	10両	検修：大原基地

3. 営業キロ及び運転時分

	京都～大阪	大阪～姫路	姫路～上郡	上郡～岡山	上郡～智頭	智頭～鳥取	鳥取～倉吉
距離	42.8km	87.9km	34.8km	53.8km	56.1km	31.9km	39.8km
最高速度	130km/h		120km/h		130km/h	95km/h (智頭～津ノ井) 110km/h (津ノ井～鳥取)	120km/h
運転時分	約28分	約55分	約22分	約36分	約37分	約28分	約30分

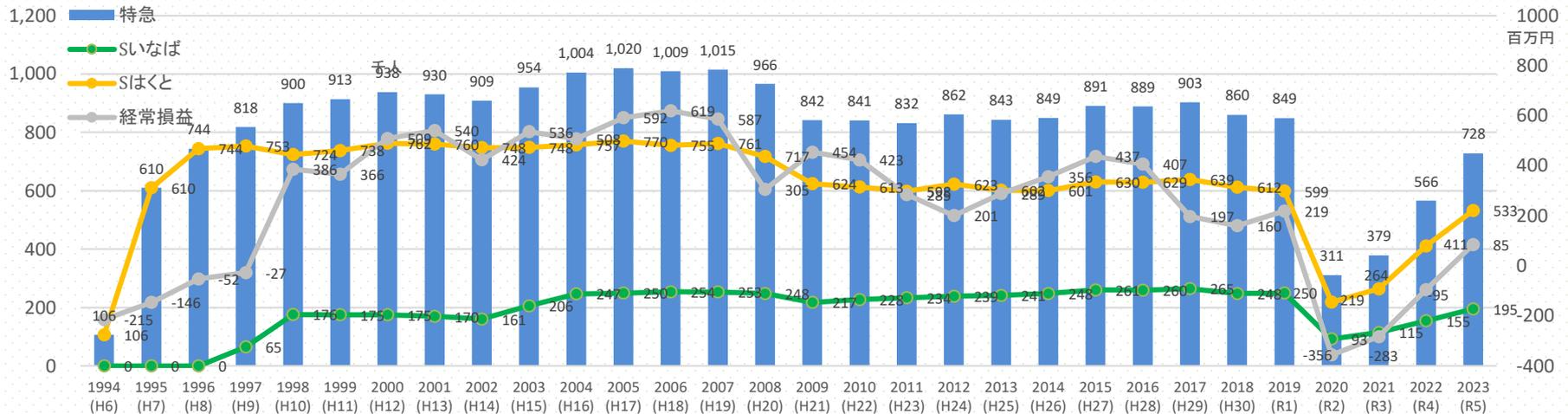
4. 1日当たりの列車キロ及び車両キロ

	列車キロ	車両キロ
スーパーはくと	3,980.2km	19,901.0km
普通列車	1,895.5km	2,273.2km

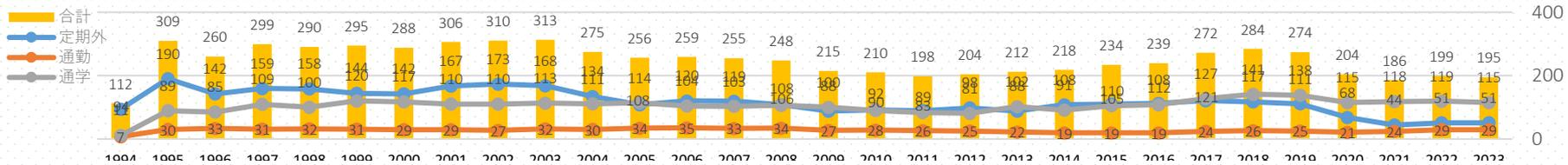


Ⅲ 乗車人員、経常損益の推移

1. 特急列車の乗車人員及び経常損益の推移



2. 普通列車の乗車人員の推移



3. 沿線人口の推移 (2024(令和6)年3月31日現在)

	倉吉市	鳥取市	智頭町	西粟倉村	美作市	佐用町	上郡町	合計
面積	272.2km ²	765.3km ²	224.7km ²	58.0km ²	429.3km ²	307.4km ²	150.3km ²	—
人口	43,878人	180,260人	6,189人	1,333人	25,235人	14,941人	13,786人	285,622人
市町村合併時 (H17.10) 人口	52,592人	201,740人	8,647人	1,684人	32,479人	21,012人	17,603人	335,757人

※合併時期 倉吉市：平成17年3月22日 鳥取市：平成16年11月1日 美作市：平成17年3月31日 佐用町：平成17年10月1日

現状を踏まえれば、弊社がノウハウを持たない 二次交通に関与するのは、極めてハードルが高い

○地域の現状

過疎化や車社会へ生活様式が変化したことによって、バス・タクシー事業者が撤退
民間事業者で担えないところを、自治体がオンデマンドバス、コミュニティバス、
乗り合いタクシーなどで支援する枠組みができていますが、弊社との連携は必ずしも
充分ではない。

○弊社が考える二次交通のあるべき姿

列車の発着に合わせて、バス・タクシー事業者などが行政の支援のもと
お客様のニーズに沿ったメニューを提供
ニーズに即したメニューになっているかを検証し、絶えず見直しを図る

⇒このような枠組みができるのであれば、そこに参画するのは
やぶさかではない